

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0865
 住 所 川崎市川崎区千鳥町10番1号
 氏 名 日本合成樹脂株式会社
 代表取締役社長 小室靖浩

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本合成樹脂株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区千鳥町10番1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)
主たる事業 の内容	石油樹脂製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,946	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

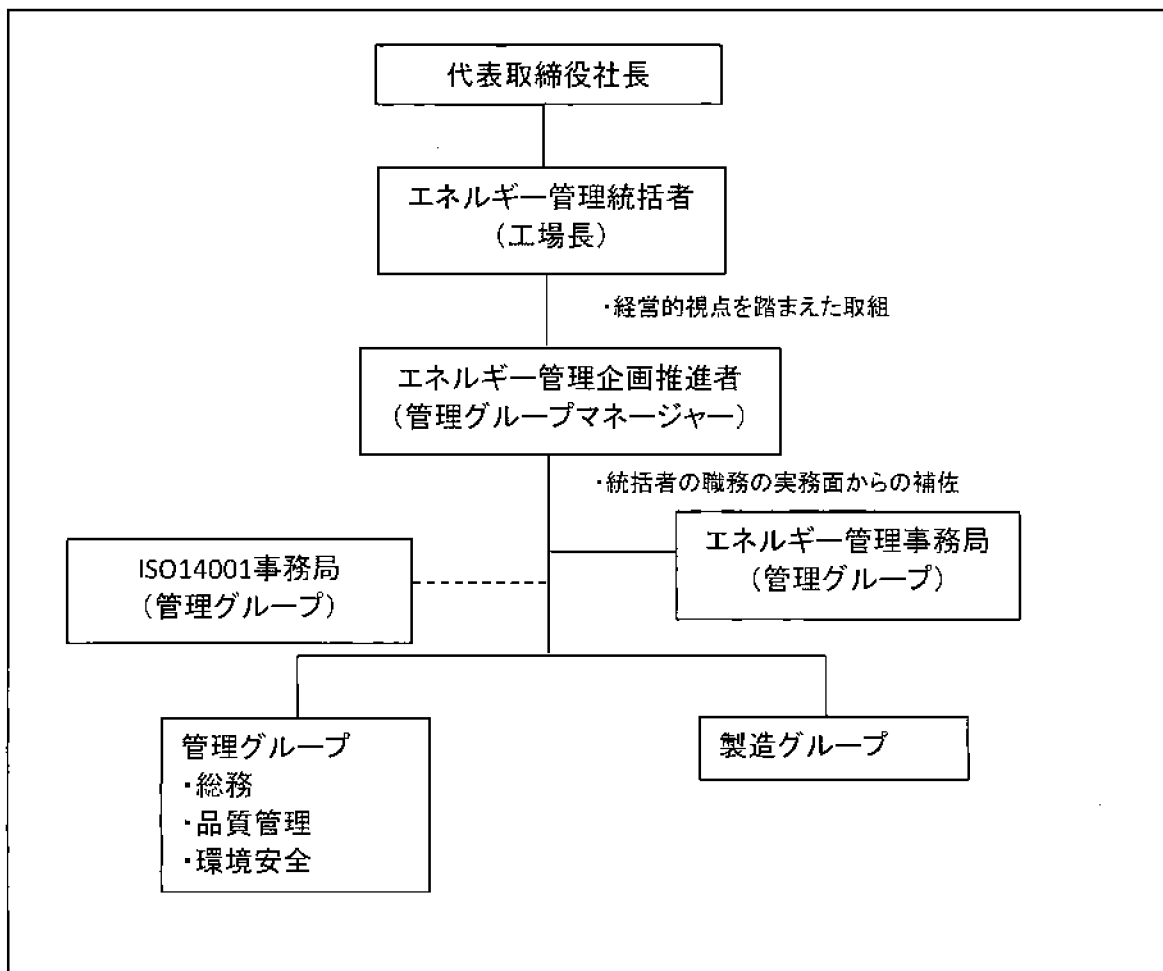
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

低炭素社会形成への貢献
循環型社会形成への貢献
事業活動における環境保全の推進

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

環境管理システムに基づいた環境負荷低減のためのPDCAサイクルを継続管理する

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2018				年度
目標	年度	2021				年度
基準	排出量	(実) (調)	5,398 5,398	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
目標	排出量	(実) (調)	5,955 5,955	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
削減量		(実)	-557	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実)	557	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	-1,114	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削減率		(実)	-10.3	%	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		生産量			
原単位の単位		kl/t			
基準年度の値		0.2248			
目標年度の値		0.2181			
削減率		3.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

中期販売計画をもとに、策定した2021年度の生産量は、基準年度である2018年度より13.7%増加の見込となっており、このまま温室効果ガス排出量を増加させないため、エネルギー原単位を毎年1%削減する方針を講じることを削減目標とした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	(1) 冷凍機の省エネタイプへの更新・運転開始 (2) LED照明への継続的な切り替え (3) 装置稼働に合わせた加熱炉運転方法の確立 (4) プロセス配管保温の劣化に対する計画補修の継続 (5) 装置停止中の不要エネルギーの停止継続
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫通路上の照明をLED化した ・プロセス配管保温の計画補修実施 ・運休期間のスチームトレース停止継続 ・2系列の熱交換器を更新
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()	×	
その他()	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	(1) 森林保全活動への参加 (2) 一般廃棄物削減活動 (3) 産業廃棄物の削減(乾燥不良及び雨水混入等の回収) (4) 不合格品の削減活動
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	5,398	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

	2,946	KJ
--	-------	----

ウ 事業所の数

	1
--	---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
日本合成樹脂株式会社	川崎市川崎区千鳥町10番1号	5,398 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂